

第 23 回（令和元年度第 7 回）公立大学法人公立小松大学教育研究審議会 議事概要

日時 令和元年 11 月 13 日（水）13 時 30 分～14 時 30 分

場所 中央キャンパス 2 階会議室

出席者 山本委員（議長）、横川委員、木村^繁委員、北岡委員、真田委員、岩田委員、
木村^春委員、酒井委員、徳田委員、盛田委員
（オブザーバー参加：石田理事長）

陪席者 事務局長、学生課長、総務課長、総務課員

1 議事

(1) 議事概要の確認

議長より、資料 1 に基づき、第 22 回（10 月 9 日開催）教育研究審議会議事概要の確認があり、異議なく承認された。

(2) 審議事項

① 公立小松大学大学院 サステナブルソリューション研究科（仮称）設置準備について

議長より、資料 2 に基づき、公立小松大学大学院 サステナブルソリューション研究科（仮称）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。ただし、科目名等については、引き続き WG にて検討を行うこととなった。また、公立小松大学大学院 サステナブルソリューション研究科担当教員の資格判定基準（案）についても、原案どおり承認された。追加資料として、議長より、修士・博士課程設置検討 WG について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

② 教員人事計画について

議長より、資料 3 に基づき、教員人事計画について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。今後、資料 3 をひな型として、各学科で準備を進めることとなった。

③ 令和 2 年度学年暦について

横川委員より、資料 4 に基づき、令和 2 年度学年暦について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

④ 大学間交流協定の締結について

横川委員より、資料 5 に基づき、タイのランシット大学との大学間交流協定の締結について説明があった。北岡委員より、締結に至る概要の説明があり、協定締結後、来年度から学生交流を開始したいとの説明があった。審議の結果、異議なく承認された。

(3) 報告事項

① 令和 2 年度特別入試出願状況について

横川委員より、資料 6 に基づき、令和 2 年度特別入試出願状況について、報告があった。学生課長より、昨年度と比べ出願者数が増加したとの説明があった。

② 令和元年度後期授業料減免者について

横川委員より、資料 7 に基づき、令和元年度後期授業料減免者について、報告があった。

③ 令和元年度上半期の研究業績とりまとめについて

木村^繁委員より、資料 8 に基づき、令和元年度上半期の研究業績について報告があった。

④ 大学間交流協定の締結について

横川委員より、資料 9 に基づき、マレーシアのアブドルラーマン大学との大学間交流協定を締結したとの報告があった。

⑤ 学長表彰について

議長より、資料 10 に基づき、学長表彰の実施について説明があった。来週中に表彰を行うとのことであった。

(4) その他

① 英語外部試験について

議長より、公立大学協会からの通知により、本学としての英語外部試験実施の有無について 12 月 13 日までに公表を行う必要があるとの説明があった。来月の本会議にて審議を行うにあたり、教育企画委員会と入試部会および各学科にて検討を行うこととなった。

② 保護者会総会について

横川委員より、大学祭と同日に開催された保護者会総会について、報告があった。